



鈴木賢和 議員



てんかん時のブコラム口腔用液投与を

問 ブコラム投与に適切に対応できる体制の準備を。

答 保護者から相談などがあった場合、医師が使用を認めていることや学校に対する使用の依頼を確認し、緊急やむを得ない措置として行われるものであることを、学校内のすべての教職員に周知していく。

男性もHPVワクチン接種の実施を

問 男性のHPVワクチン接種に対し、どのような認識を持っているのか。

答 HPVに起因するさまざまな疾病の発症リスクを予防するとともに、パートナー間での感染を防ぐという上でも、有効な手段である。

※ヒトパピローマウイルス



ワクチン接種イラスト

自治会の維持とデジタル化を

問 自治会などの地域コミュニティの維持と支援の必要性は。

答 自治会が行う申請や報告などについては、電子申請や電子メールなどのデジタル技術を活用することで業務の効率化を図るなど自治会役員や自治会活動の負担軽減を図っていききたい。



木下 正 議員



運転免許証返納者対策袋井市の取組は

問 運転経歴証明書の市民周知はどのようにしているか。

答 市ホームページに掲載している。今後は介護予防のためのでんでん体操や、シニアクラブで周知していく。

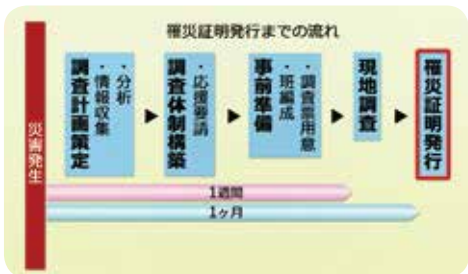
問 運転免許証の返納に関する市の支援、援助は。

答 運転経歴証明書発行手数料の一部助成、自発光式反射材の配布、電動アシスト付自転車の購入費補助を行っている。静岡県警は運転免許証返納者が飲食店などの商店等で各種割引を受けられる運転免許自主返納者等サポート事業を実施している。市としても県警と連携するなど運転免許証返納者に寄り添う伴走型の支援に努めてまいりたい。

罹災証明書発行迅速化袋井市の取組は

問 職員の負担軽減や証明書の迅速化には民間企業のシステムの導入が必要か。

答 各種支援等を受ける際に活用できる罹災証明書を期間内に発行するには人員の確保が最大の課題である。短期間で各種業務をこなす必要があり「被災者支援システム」導入に向けた検討をしている。



罹災証明発行までの手順



竹村真弓 議員



認知症の方へのはいかい対策

問 あんしん見守りシールや、認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入状況・保険活用は。

答 はいかいは心配のある方は、あらかじめ「はいかい SOS ネットワーク事業」に登録をいただき、希望する方に加入してもらっている。シールの配布は令和4年度末55人、保険加入者は76人であるが保険の利用はない。周知方法、チラシの配布ということも含めながら考えていきたい。

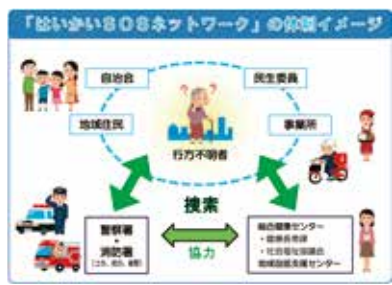
問 袋井市でのGPS導入は。

答 GPSを利用した場合、端末を携帯する必要や、充電が家族の負担になるなど課題があり導入を見送った。事業の周知に努め、連携して地域で見守り支える仕組みづくりにより一層取り組んでいきたい。

女性防災リーダー育成 ネットワー制度の取組

問 女性防災リーダー育成に向け本市でも取組を。

答 今後の防災リーダー育成や、地域防災力の向上に有効な手段と認識している。袋井市には、女性防災リーダー受講者が17人いる。地域での防災講座や訓練などに講師や指導者として紹介するなど、活躍の場を広げていきたい。



はいかいSOSネットワーク体制イメージ